



しいの木

しいの木は袖ヶ浦の木です



発行／袖ヶ浦市PTA連絡協議会 編集／袖ヶ浦市P連広報 ☎ 0438-62-3139 (代表)

進む、袖ヶ浦っ子 ICT教育



今年度の「しいの木」は
タブレット学習についておおくりします！

ICT(情報通信技術)機器の活用は、新型コロナウイルス感染拡大を機にこれまで以上に注目されスピード感を持って環境整備することが求められています。袖ヶ浦市の小中学校で取り組んでいるICT機器を活用した学習環境についてご紹介させていただきます。



秋を見つけにお散歩してみませんか？

夏休み何してた？

P2

- コロナ禍の夏休みの過ごし方
- ・おうちあそび
- ・そとあそび



学校ICTインストラクターって？ P3

袖ヶ浦市立総合教育センター小林氏にインタビュー



タブレット学習の様子

P4,5

- ・各学校のタブレット学習について
- ・研修情報交換会



市P活動報告

P6,7

- ・教育懇談会「子どものネット利用大丈夫？」
- ・セミナー報告「オール1の落ちこぼれ教師になる」



夏休み 何して遊んでた？

コロナ禍での夏休み

「どんな遊びをして過ごしていたのかな？」聞いてみました！
「次のお休みは 何して遊ぼうか？」の参考になると良いです。

おうちあそび



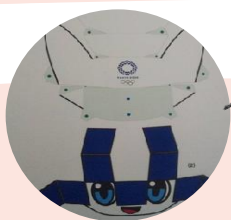
ごっこ遊び

- ・駄菓子屋さんごっこ
- ・お祭りごっこ



おうちキャンプ

家の中にテントをはって
キャンプ気分



オリンピック観戦

開会式の選手入場では、
地図帳を広げて各国の場所をチェック。
国旗とリンクしたユニフォームも楽しみました。
ミライトワのクラフト作り。



映画鑑賞

部屋を暗くして
昔の映画やアニメの鑑賞

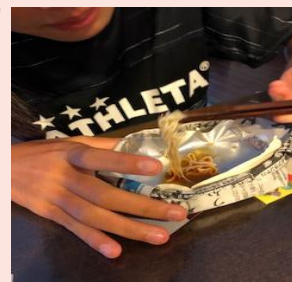
おやつ作り

ボール型アイスメーカーで
遊びながらアイス作り



防災グッズ作り

新聞紙とヨーグルトの蓋で
汚れにくいお皿作り



高校野球の応援

ゲーム

親子でやったよ！

- ・ゲーム大会 ・トランプ大会
- ・オセロ ・ボードゲーム ・将棋対決



そとあそび



夕方の公園

涼しくなった夕方の
公園でセミ採りやサッカー



キャンプ

お庭にテントをたててキャンプ

花火

家族で花火

プール

お友達と百目木プールお庭でプール



BBQ

夏野菜を育ててお庭でBBQ

ドライブ

稲刈り機に親子で
乗って田んぼを滑走

近所で遊ぶ

- ・バドミントン
- ・鬼ごっこ
- ・キャスターボード
- ・スケボー



サイクリング

夕方の広域農道を
家族でサイクリング



学校ICTインストラクター



様々な学校支援をされる中で、ICT関連の対応もしていますか？

総合教育センターでは、4月からスタートした一人一台タブレットPC環境（GIGAスクール構想の実現）に子どもたちや先生方が順応出来るように、日々 授業支援や研修支援、機器等のトラブル対応などに当たっています。

それらの業務の中核を担っているのが、「学校ICTインストラクター」という非常勤の職員です。今年度から1名増員され、2名体制となっています。



左（教室） 右（学校ICTインストラクター榎本先生）

リモート授業はどのような様子ですか？

生徒たちは個々のPCを机の上に置き、教育センターと学校の先生用PCをTeamsの会議システムで接続します。

生徒たちは、大型提示装置に映された先生用PCの画面で説明を見聞きしながら、自分のPCを操作していきます。

今回は、自己紹介のプレゼン資料を作ることを通して、テキストや画像にアニメーション（視覚効果）を付ける操作と、クラウドへの保存の仕方を学びました。

先生は、学校ICTインストラクターの説明を、生徒に補足したり、生徒の状況を学校ICTインストラクターに伝えたりと中継役をしました。最終的には、全員が資料の保存が出来ました。

そして、みんなの前で発表する時は、自分のPCをわざわざ前に持ってきて大型提示装置と接続しなくても、資料を選択するだけで簡単に表示出来ることを確認して終わりました。



緊急事態宣言中も授業支援はされていますか？

コロナ禍という状況により、実際に教室に入って授業支援をすることが難しい場合は、オンラインで教育センターと学校を繋ぎ、リモート授業をすることもあります。

9月14日は、根形中学校の技術科で3年生を対象に「PowerPointの基礎講座」を行いました。

他学校への支援の予定はありますか？

今回は根形中学校への支援を例にご紹介しましたが、他にも多くの学校から支援の要請を受けています。

今後も子どもたちや先生方が安心してICT機器を活用しながら授業に臨めるようにバックアップしていきます。



お忙しい中、オンラインICT授業支援の様子について詳しく教えてください、ありがとうございました。コロナ禍により急速に教育現場にタブレット学習を導入しなければならない状況になっており、先生方も大変かと想像します。今後も各学校へ授業サポートして貰えたら嬉しいです。



研修会
レポート

学校によって タブレットの扱い方に違いも！

参加者 石井会長、大久保先生、小川先生、深見さん、
市P研修委員 各校の研修委員長
日時 令和3年7月10日(土)



今年度から始まったタブレットPC授業に関する親の目線からの疑問や考えを各校の代表が、事前に自分の子どもに聞いたり、自校の教頭先生にお話を伺ったりと取材をした上で発表するものでした。意外にも授業の進みやタブレットの扱いが学校によってかなり異なり、感心したり驚いたり、いろいろな発見がありました。



また、事前に各校で過去3年分の研修活動や、視察研修内容を提出してもらい、他の学校の活動を自校で参考にしてもらえるように、資料としてお配りしました。各校の研修委員長さんにも発表してもらい、急遽対応していただけたことに感謝しています。しかしながらコロナ禍以前と現在では、活動の内容も幅も全く異なり、出来ること、行ける場所を考えること自体がとても難しくなっています。その上で子どもたちのために今本当に必要な研修活動が何なのかを見つめ直さなければいけないと思いました。今年度から市で取り組んでいるGIGAスクール構想に伴い、子どもたちがごく自然にタブレットに順応する姿を微笑ましく思うと同時に少しだけ戸惑う私たち親もまた、考え学んでいく必要があると強く思います。



新型コロナの蔓延防止の最中であり、開催に迷いもありましたが、感染予防をした上で、たくさんの方にご参加いただきました。

市P研修委員長 中村



参加者アンケート



講師の方など、情報を持っている方を呼んで、その場で解決できることはしてほしいと思いました。

今回タブレットの使い方でしたが、人数が少ない学校の方がうまく使いこなしているなという印象でした。



タブレットの使い方は市内一緒だと思っていましたが、学校ごとに違うことを知り、聞いていて興味深かったです。



研修情報交換会を終えて



情報交換会では、各学校のタブレット学習の状況について情報交換されたとのことで、委員長の中村さんにインタビューしてみました！

タブレット学習が進んでいる学校はありましたか？ どのような所が進んでいると感じましたか？
主にドリル学習やインターネットでの調べ物で活用していました。
それ以外で特徴のあった活動を紹介します。



中川小学校

図工の授業で作った作品を写真に撮ってみんなで送り合い、席を移動せずに鑑賞する、という活用をしています。



根形中学校

生徒会がteamsを活用して、現在コロナ禍で集まることが出来なくなっている全校生徒向けのリモートの集会を開催しています。



平川中学校

数学の授業で、先生が黒板の代わりにタブレットに書くとそれが生徒のタブレットに反映されるので、黒板が読みにくい生徒にとっては、便利に感じているようです。



奈良輪小学校

7月までに既にプログラミングを行ったり、teamsを使って生徒が各場所に分かれて映りを確かめたり会話をしたりしています。

長浦中学校

体育の授業で動画を撮って、普段見られない自分の姿を動きとして確認出来るため、生徒の興味を引いています。

研修委員会の今後の予定はありますか？



今のところ白紙ですが、対面も難しい今、リモート会議や、オンラインで出来る活動を、また子どもたちのためにアウトプット出来る活動を考え実行していきたいと思っています。

NOTES

情報交換会后、2ヶ月経過したので各学校の取り組みはかなり進んでいるのではないかと思います。学校によって違いはあるものの、子どもたちにとって幼い頃からPCやインターネットに触れることが、将来にすごく役に立っていくんだろうなと感じました。

ZOOM
セミナー

子どものネット利用大丈夫！？

講師 LINEみらい財団 柴田様
参加者 市P連絡協議会理事、各校PTA役員
各専門委員長 事務局長 他
日時 令和3年8月21日(土)



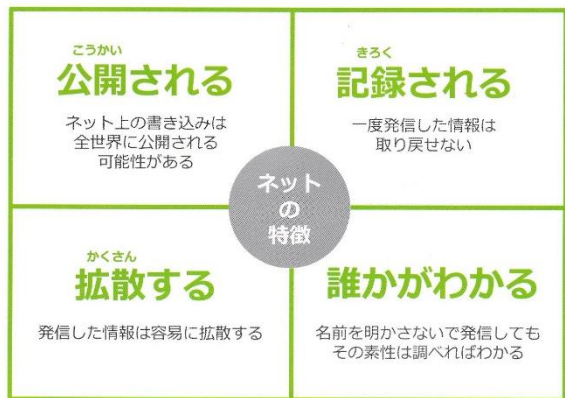
タブレットが生活の一部になりつつあり、安全にSNSを生活の中に取り入れていきたいという背景からLINEみらい財団の方に『情報モラル教育』という観点で講演をしていただきました。



SNSは目に見えない所で、進行しているトラブルが多いです。当たり前が違う友達同士では、トラブルが起きやすくなります。「自分が写っている写真を勝手に公開する」のガイヤな人も 平気な人もいる様に、感覚の違いが人によって違うことをワークショップで体感しました。

まずはインターネットの特徴を押さえよう！

21



不適切な情報を送る・発信する

対策 コミュニケーションのトレーニング

ネットコミュニケーションは、日常モラルやネット特性の理解、想像力・判断力の育成がポイント

不適切な情報を受け取る・見る

対策 設定の確認

フィルタリングサービスやアプリの設定で防げるものは、きちんと活用

※フィルタリングの設定方法は、携帯電話会社や機種により対応が異なりますので、詳しい設定方法は販売店にご相談ください。

不適切な使い方・管理

対策 ルールの工夫

時間とお金の使いすぎは、自律を目指したルールづくりが重要

子どもがネットを利用する際、正しく使っているか、使い過ぎてないか等、常に心配になります。子どもたちに正しい使い方を教えるためには、平日頃から大人も情報に触れ、学ぶことが大切だと気付かされました。



市P広報委員会理事



市P広報委員

これからSNSのトラブルは増えていくだろうなと思いました。コロナ禍で多くの人とコミュニケーションが取りづらい環境になっています。長期化しているため、他人を理解する場面が減っています。特に若い世代では、学校や地域活動を通して多くの価値観に触れることが大切だと感じました。コロナを早く終息させる必要があると強く感じた講演会でした。

いじめ

生涯孤独

引きこもり

絶望を
乗り越えて



YouTube
セミナー

オール1の 落ちこぼれ教師になる

講師 宮本延春さん（元高校教諭）
日時 令和3年7月3日（土）
悪天候の為、後日YouTube配信

十代での両親との死別、いじめ、
貧困…中卒で就職、転職を繰り返
す中、巡りめぐった素晴らしい出
会いが学びへの道を開いていきま
す。恩人との出会いは、困難な境
遇にもめげず、腐らなかった宮本
さんのお人柄が引き寄せたものか
もしれません。



講演ではお母様の深い愛情がご本人の心の支えになったことも触れられています。定
時制高校から難関の名古屋大学に進学、自らの経験を活かし教壇に立った宮本さん。
ご自身の体験と教師としての視点から、子どもの自己肯定感を高め、学びの環境に繋
げていく…子育てのヒントを沢山いただきました。

惜しまれるのは、『オール1』から名古屋大学に合格するまでの具体的なレベルアッ
プの説明が欲しかった点です。

また、当日は悪天候のため後日YouTubeでの視聴となりました。しかし、スライド
と講師、手話通訳の映像が分かりやすく編集されており、期限内で何度も視聴可能で、
通常とは違った形で参加することができました。

（市P広報委員）

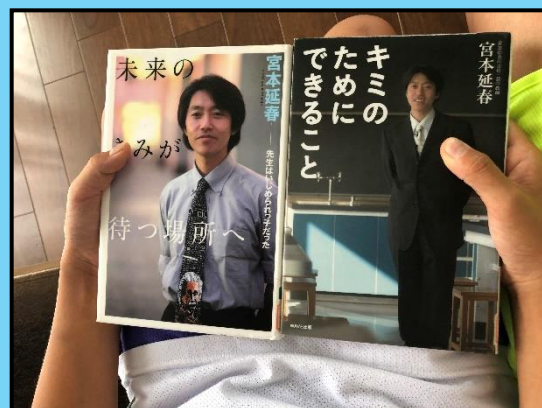
数年前に著書を
読んだことがありました。
今回の公演では、
本に載り切らないエピソードを
語ってくれたのが良かったです。



子どもの感想
（視聴申請済み）

宮本さんの著書は
図書館でも借りて
読む事が出来ます

勉強のヒントが
見つかるかも？





早く会いたいね

職場へ向かう車の中で、いつもラジオを聴いている私。うんうんと頷いたり、クスッと笑えたり、職場に到着するまでわずか15分ですが、楽しみな時間です。ある日、とある航空会社のラジオCMが流れてきました。お孫さんがおばあちゃんに電話をしているのですが、どうやらコロナ禍で長いこと会えない様子。我が家も飛行機で1時間半の距離に両親がいます。運転中にもかかわらず、CMの中の登場人物の気持ちに共感して、思わずウルウルとしました。我慢ばかりで心が辛くなりますが、まだ耐えなければなりませんね。当たり前前の日常が早く戻ってきますように。

オリンピック観戦 トホホ編

夏休み、受験生のいる我が家、お楽しみタイムはオリンピック観戦。アスリートたちに触発されて、やる気スイッチオン!の淡い期待を抱くも、メダリストの紹介を観て、子どもの口からは『幼少期からのスパルタ教育の成果』『こんなに休みなく頑張れない』と全く効果なし。これは同じ次元で考えられないほど尊敬している気持ちの裏返し?保護者としても、ここまで支えられるのか考えてしまうもの…でも子どもの頑張りたい気持ちにあらん限り応えたいといつも思っているよ。それだけは忘れないでね。とつぶやきつつ、あれ?やる気スイッチは結局どうなった?

家族でタブレット学習について考えてみた!



今年度から始まったタブレットPC授業についてメリット・デメリットについて子どもたちにも意見を聞いてまとめてみました。

メリット

- ・コロナ感染を拡大させない(コロナ禍では友達同士の感染が抑えられる)
- ・ゲーム感覚で楽しく学習出来る
- ・動画や写真を使うことで分かりやすく学べる

デメリット

- ・目には良くない(目が疲れるので、目が悪くなりそう)
- ・先生とのやりとりがしづらい
- ・先生から教えて貰う方が覚えやすい(直接授業の良さ)
- ・友達に会えない(自宅でタブレット学習を行う場合)
- ・誹謗中傷が起きやすい(タブレットを使った誹謗中傷が校内で起きる可能性がある)
- ・機器のトラブル対応(電波が悪くなったり、途中で止まったりしないか不安)

メリット・デメリットをあげてみると、学校に通い学習出来ることの良さを子どもと共に再確認することが出来ました。

次回「しいの木」は2月に発行予定です!

